

## 公益財団法人 坂口国際育英奨学財団 「坂口財団 NOW No.104/2020.9 月号」にて 卒業生の張 慧聡さんが特集されました。

▼以下掲載記事より抜粋 -----



### 張 慧聡 (チョウ エソウ)

中国出身 / 2018 年度奨学生

日本女子大学 家政学研究科住居学専攻修士課程修了

日本女子大学修士課程で住居学を修めた後、プリツカー賞受賞者で世界的に活躍される建築家の坂(ばん)茂(しげる)氏の建築設計事務所で奮闘中の張 慧聡さんにご寄稿いただきました。

建築とは何だろう?という問いに、日本に来た頃はまだ深く考えていませんでした。

中国での大学時代、『連戦連敗』(安藤忠雄著)という本に出会いました。「建築生産」(経済性を重視する学問)を学んでいた私は、この時初めてデザインに興味を持ちました。安藤さんの作品を見るまでは打ち放しコンクリートは仕上げができてない未成品にしか見え、まさかこんなにも美しい物だとは思いませんでした。そして「建築は常識を破る」ことに気がきました。

その後日本語を勉強し、ネットで日本のリフォーム番組「大改造!! 劇的ビフォーアフター」を見て、留学の決意をしました。大学院では多世代住宅をテーマに研究を行いました。集合住宅全体は、人間関係を築くコミュニティです。共有空間を大きくすると、住宅の中に小さな経済行為が生まれるようになりました。居職統一により、住民は部屋に住むだけでなく、お互いに助け合い、子育て、教育、介護、自己実現も可能になると考えました。建築は単なる建物ではなく、意図を持つ空間です。その意図は、設計者から与えられたものです。建築は「魂」を持っているのです。

この魂を探し就職活動を行う中で、坂(ばん)茂(しげる)氏に出会いました。初めて坂氏の紙管とカーテンでできた間仕切りの写真を見たとき、心が震えました。

坂氏は講演会『作品づくりと社会貢献の両立をめざして』で「体育館のような広いところに被災した人たちが大勢集められ、間仕切りもなく雑然とした中で寝ているのです。このようなプライバシーのない、人権を無視した避難所の状況を、日本政府は地震がある度にずっと続けているのです。非常に悲惨な状況を目の当たりにし、なんとか間仕切りをつくらうと思って、新潟県中越地震の時も、福岡県西方沖地震の時にもいろいろな試行錯誤をしてきたのですが、やっと今回ひとつのよい解法が見つかりました。」と語っています。紙が建築資材になれるのは不思議なことです。そしてそこまで人のために考えられることに感動しました。これこそ「魂」を持つ建築だと思うからです。

この「魂」に誘われ、幸運にも坂茂建築設計に入社することが出来ました。初めての仕事はコンペでした。仕事を取れるかどうかはこの1ヶ月の努力次第でした。1枚のパスのために何十枚のアングル図をつくったり、柱一本のために何日も掛けて模型をつくったりと、毎日終電まで仕事をし、充実した1ヶ月でした。コンペ資料を提出し、無事二次審査に入りました。いい結果がでるようにと、毎日ドキドキしていました。7月5日は二次審査のプレゼンテーションの日、驚くべきことが起こりました。坂氏は熊本豪雨災害を支援するため、プレゼンテーションに行かず、熊本に行ったのです。

当日、大分県立美術館で開催されていた「坂茂建築展」の最終日も出席せず、ずっと熊本県で活動を続けられました。坂氏は自分の仕事よりも災害支援を選びました。これは坂氏の「建築とは何だろう」への答えでした。

7月30日、熊本県人吉市の人吉スポーツパレスに間仕切り385ユニットを設置しました。(写真下)。入社以来、毎日、間仕切りのカーテン用の布を畳み、紙管を倉庫まで運び、それらは全て熊本へ送り出しました。費用は支援金(NPO法人ボランティア・アーキテクト・ネットワークより受付)で負担し、不足分は自払いです。このやり甲斐に、仕事を取れなかった悔しさはとっくに雲消霧散しました。



topic  
2

## 定行研究室とミサワホーム総合研究所・他との共同研究 「保育所における1歳児の「主体的な活動」からみた空間・環境に関する研究」 が第14回キッズデザイン賞 キッズデザイン協議会会長賞を受賞



ミサワホーム総合研究所に在籍しながら、本学生活環境学専攻(博士課程後期)に入学し、定行まり子教授の指導のもと研究を続けた長谷川恵美さんは、本年3月に学位取得を果たしました。その研究成果が今回の受賞に結び付きました。

このキッズデザイン賞は、子どもの安全・安心と健やかな成長発達に役立つ優れた製品・空間・サービス・活動・研究などに対して与えられるものです。今回の受賞理由は、子どもの行動特性と建築の関連性を調査した有益な知見であり、キッズデザインの空間開発に資する素晴らしい取り組みと評価されました。





**KIDS  
DESIGN  
AWARD  
2020**

**第14回キッズデザイン賞**  
奨励賞  
子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン リテラシー部門

株式会社ミサワホーム総合研究所 殿  
学校法人日本女子大学 定行まり子研究室 殿  
株式会社コビーアンドアソシエイツ 殿  
社会福祉法人コビーソシオ 殿

作品名  
保育所における1歳児の「主体的な活動」からみた空間・環境に関する研究

本作品は子どもの様々な知識の習得や学びを支援する製品・空間・サービス・活動・研究の中で特に優秀と認められましたのでこれを賞します

特定非営利活動法人  
キッズデザイン協議会 会長 **山本 正巳** 

令和2年9月30日

◀ 研究内容一部抜粋 ▲ 表彰状